

奈良女子大学大学院人文科学系言語文化学領域におけるテニユア審査基準は、奈良国立大学機構テニユアトラック制に関する規程および奈良女子大学テニユアトラック制に関する審査基準要項に基づき、次のとおり定める。

テニユア審査においては、「教育」「研究」「社会連携」「管理・運営等」の各観点から総合的に評価し、言語文化学領域における教育研究を担う専任教員として適格であると認められることを要件とする。

なお、審査にあたっては、単なる業務遂行の有無にとどまらず、当該分野における研究者としての学術的貢献度、国内外への学術的発信力、および教育研究組織への実質的貢献を重視し、以下の必須条件を満たすことを原則とする。ただし、必須条件に達しない項目があっても、その他特筆すべき事項がある場合には、審査において考慮する。

【必須条件】

1. 教育

文学部のカリキュラムに基づき、講義・演習等の授業を担当するとともに、教育内容の充実化と教育方法の改善に継続的に取り組んでいること。

また、学部における学生の研究指導に貢献し、論文作成・研究遂行に対して指導能力を有すること。

2. 研究

テニユア審査の時点で、本学在籍中に公表した研究に関する研究業績を有し、当該分野において継続的かつ自立的な研究活動を行っていることと認められること。

研究業績の目安は概ね以下の通りとする。

査読付学術誌において単著または筆頭著者として2本以上論文が掲載または掲載決定されている。またはそれに準ずる業績を有する。

国内外における主要な学会での発表、国内外研究者との共同研究の実施等、学外研究コミュニティにおいて積極的に活動していること。

3. 社会連携

国内外の学会活動、研究ネットワーク形成、当該分野の学術コミュニティに積極的に参画していること。あるいは、地域社会と教育機関との連携を通じて、知の社会還元に貢献していること。

4. 管理・運営等（全学および組織への貢献）

全学および文学部の管理・運営に参画していること。教育研究分野の管理・運営を、同分野に所属する他教員と協力して行っていること。